

り方についてお尋ねします。

A 市長答弁

自治体のアウトソーシングは、各種の法律による規制緩和が行われることで、急速に進展を遂げましたが、市におきましても、「民間にできることは民間に」という観点のもとに、真に住民サービスの上を図ることができ、財政負担の軽減につながるものは積極的に推進をしてみたいと考えております。今後、市の各分野の業務を細かく調査・検証して、アウトソーシングの可能性を模索するとともに、適当と判断した場合は、事業の一部においても積極的に活用していきたいと考えております。

ら高齢者への支援について併せてお尋ねします。

A 市長答弁

生活保護世帯につきましては、持ち家に居住する場合は、住宅維持費の支給対象となり、また、民間の借家に居住される場合は、家主と入居者の協議の結果、すべての入居者が自己負担で設置することと同意しているときに購入費用を住宅維持費の対象として差し支えないものとされており、

高木法生議員



1 住宅用火災報知器の設置義務化について

Q1 住宅用火災報知器の設置義務化に伴う生活保護世帯の費用の助成について、また、高齢者世帯及び一人暮らし

Q1 10月よりインフルエンザ予防接種事業がはじまりました。市民すべての方に接種できるワクチンの確保についてお尋ねします。また、中学生以下へのインフルエンザ予防接種の助成についてお尋ねします。

2 平成22年度インフルエンザ予防接種等について

次に高齢者世帯及び一人暮らし高齢者世帯への火災報知器の設置につきましては、老人日常生活用具給付事業において、給付を行っておりますが、実績が上がっていないのが現状です。具体的な支援方法等につきましては、予算の確保も併せ、関係機関等と向きに協議をしてみたいと考えております。

A 市長答弁

今シーズンは十分な量のワクチンが流行シーズン前に供給されるために、ワクチン接種に係る優先順位はなく、国民全員が10月より接種できるものと伺っており、本市におきましても、接種を希望する市民すべてに接種できると考えております。

次に中学生以下へのインフルエンザ予防接種の助成についてですが、非課税世帯の小学6年生以下の方に2回接種しますと、接種費用6,150円を全額補助いたしまして、中学生には、1回接種費用3,600円を全額補助することとされており、

3 7月発生の高雨災害にかける今後の対策等について

Q1 この度の災害の教訓から、防災計画等の見直しについてお尋ねします。また、市防災行政無線の整備について併せてお尋ねします。

A 市長答弁

美祿市地域防災計画は、災害から市民の生命・財産を守るうえで、根幹となる重要な計画です。しかし、この度の災害において、想定をしていない様々な事案が発生しましたことから、より実効性のあ

A 市長答弁

る計画となるよう、庁内各課、関係機関と協議を重ねまして、できるだけ早期に整備したいと考えております。次に市防災行政無線の整備についてですが、災害情報の収集・伝達体制を図るためには、防災行政無線の整備がさらに重要になります。災害は、いつでも、どこでも、起こり得るということを念頭に置きまして、万全の対策が講じられるよう、過去の災害を検証しながら市民生活の安全・安心の基盤づくりを一層推進してまいりたいと考えております。

次に監理課の機能についてですが、指名審査会から入札、当初契約までを担当します監理係、工事検査を担当します検査室に加え、本年度から公有財産の総括、普通財産の管理等を担当します管財係を新たに設けております。

竹岡昌治議員



1 地方分権並びに行政改革と監査制度のあり方について

Q1 監査の機能、監理課の機能、土地開発公社、第三セクター、委託事業、指定管理者制度の改革の取り組み、監理指導課（仮称）の設置についてお尋ねします。

次に土地開発公社、第三セクター、委託事業、指定管理者制度の改革の取り組みについてですが、公社の取り組みにおきましては、今年度から紹介者制度を創設し販売に努めておりますが、市が債務保証をしている借入金に対する利子負担は、市の財政運営に大きな負担になると思っております。今後は、行政改革推進委員等、各方面からご意見をいただきながら、公社の解散を含めた抜本的な改革案を早急に取りまとめ、お示しいたいと考えております。また、第三セクターにつきましては、今年度、総合政策部商工労働課内に第三セクター対策

室を新たに設置し、改革に向けた準備を行っております。指定管理者制度は、選定に当たっては一般の委託事業と異なり、その改革と方策としては、管理者の公募の際に、施設状況や管理内容等周知するとともに、突発的な支出の負担割合をあらかじめ定めることなどが改革につながるというふうに考えております。

次に監理指導課の設置についてですが、組織の編成に当たっては、国や県の組織の編成に準ずることが、基礎自治体とすれば、理想であると考えます。財政支援団体等の監理監督や工事の監査を行う権能を持つ部署として、監理指導課によりまず対処することがよいかどうか、今後検討してまいりたいと考えております。

河本芳久議員



1 美祢市総合観光振興計画と特別天然記念物秋吉台・秋芳洞の保護管理について

Q1 美祢市総合観光振興計画

の策定に当たって、自然保護と観光振興の両立について、特別天然記念物を保護する体制、秋吉台の山焼き、最後に秋吉台科学博物館のあり方についてお尋ねします。

A 市長答弁

自然保護と観光振興の両立及び特別天然記念物を保護する体制についてですが、観光振興は、地域の活性化の大きな活力源となることから、地域住民の方や団体の方等とともに協力しながら官民一体となった取り組みが必要不可欠であると考えております。また、秋吉台及び秋芳洞の保護・管理につきましては、文化財保護法等でも規定されていますが、市といたしましても条例を既に定め、保護活動を行っております。今後も諸団体等の連携と協力のもと、秋吉台・秋芳洞を守っていきたいと考えております。

続いて実施できるよう努めてまいりたいと考えております。

A 教育長答弁

次に秋吉台科学博物館のあり方についてですが、野外業務については、博物館の職員だけでは対応が難しいことから、2名の管理員を委嘱し秋吉台地域の巡視を行い、自然保護や危険箇所への防護柵の設置・補修を行っております。また、県自然公園管理員等を交えた管理員会議も開催し、自然環境の管理等に努めております。今後も博物館が中心となり、関係機関との連携を強め、秋吉台の保護・保全に努力してまいりたいと考えております。

2 美祢市の生涯学習まちづくりの取り組みについて

Q1 生涯学習のまちづくり構

想についてお尋ねします。また、生涯学習の推進の拠点である公民館活動の現状について併せてお尋ねします。

A 教育長答弁

生涯学習のまちづくり構想についてですが、現在、美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会を組織し、その中で具体的な計画を協議していただ

き、事業を実施しております。基本理念として「一学習・一スポーツ・一奉仕」を掲げており、この理念のもとで、本年度は「社会教育施設を拠点とするコミュニケーションの促進と学習活動の充実」を掲げ様々な施策に取り組んでおります。

次に生涯学習の推進の拠点である公民館活動の現状についてですが、公民館活動としては、学習活動、レクリエーション活動、人権教育、奉仕活動等地域の要望や地域に必要と思われる活動を行っております。公民館は、生涯学習の地域拠点としての役割を果たしていくという使命を担っております。今後とも公民館が地域の利用者にとって魅力と活力ある生涯学習施設であるようその整備に努め、生涯学習の充実を図ってまいりたいと考えております。

岡山 隆議員



1 子宮頸がん・小児用肺炎球菌・ヒブワクチンの接種に対する公費助成について

Q1 子宮頸がん・小児用肺炎球菌・ヒブワクチンの公費助成の実施と今後の対応についてお尋ねします。

A 市長答弁

平成23年1月から子宮頸がん、小児用肺炎球菌・ヒブワクチンの3ワクチンの接種が実施できるよう、現在、各種事務を進めております。

2 小中学生の自転車事故防止における教育について

Q1 小・中学生の自転車運

におけるルール、マナーの周知について、また、自転車事故保険加入の周知と推進について併せてお尋ねします。

A 教育長答弁

学校安全計画の中に交通安全に関する指導計画も盛り込んで、交通安全指導を年間を通して計画的に実施し、自転車事故における加害者の立場についても、児童・生徒の発達段階に応じて指導しております。さらに警察署の協力を得て、交通安全教室を実施しております。

次に自転車事故保険加入の周知と推進についてですが、任意保険制度の一つであります山口県PTA連合会総合保